

初代佐賀藩主 鍋島勝茂公の 13人の子供たちと、2代藩主になった孫

慶長12年(1607)、龍造寺家の家督を引き継ぐ形で初代佐賀藩主となった鍋島勝茂公は、七男六女(*)の子供たちに恵まれました。勝茂公の嫡男忠直公の早世により、2代藩主はその子光茂公が継ぎましたが、忠直公以外の息子たちの多くは分家を創設し、姫君はおもに多久家をはじめとする藩内の重臣家に嫁ぎました。平成29年が長男元茂公による最初の分家創設(小城鍋島家)から400年にあたるのを機に、初代藩主による一門の創設を中心とした藩政運営の基盤づくりをたどります。
(*)成人した子女のみ



鍋島家
関係略系図

高源院
徳川家康の養女
一五八〇〜
一六五七

直茂
一五三八〜
一六一八

初代藩主
勝茂
一五八〇〜
一六五七



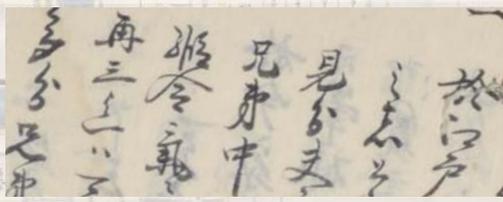
具足の伝来が語る家のつながり
勝茂から七男直長へと受け継がれた「青漆塗萌黄糸威二枚胴具足」や、四男直弘の養子先・成富兵庫茂安の所用と伝わる「錆色塗紺糸威二枚胴具足」なども公開します。



どれもユニーク!各家の旗や団居たち
「諸家団居馬鞍昇図」には、小城鍋島家をはじめ佐賀藩重臣の27家の惣旗・団居・馬印などが彩色で描かれており、鍋島軍の陣場の賑々しさをイメージさせます。(本展では一部を公開)



勝茂公、佐賀城下整備の集大成
縦2m×横3mを超える「承応佐賀城廻之絵図」が7年ぶりに登場!一部の屋敷地には色分けが施され、城内や城下に各分家の当主や家臣も居住していたことがわかります。



兄弟仲良く!勝茂公から忠直公への教訓
勝茂が嫡男忠直へ宛てた教訓書では、「兄弟中存じ合うべき事、長久の根本」と述べ、家の存続のためには兄弟との良好な関係を保持することが重要であると説いています。

第23回 プレイエル小音楽会 要事前予約
平成29年9月24日(日) 午前の部11時〜/午後の部14時〜
場所:徴古館 展示室 定員:各部50名
参加費:1,500円(企画展観覧料込/小学生以下1,000円)
【ヴァイオリン】荒川 友美子さん(九州交響楽団 団員)
【ピアノ】須田 美穂さん(洗足学園音楽大学ピアノ科 非常勤講師)
徴古館のピアノ「プレイエル」は、昭和6年(1931)に朝香宮鳩彦王第一王女紀久子様が13代鍋島直泰様に降嫁される際に、婚礼調度としてフランスで誂えられたものです。

本展関連の佐賀城下探訪会 要事前予約
「佐賀藩 初代藩主と子供たち」(10/1)
「小城の歴史と史跡めぐりバスツアー」(11/5)
勝茂公とその子供たちや、小城鍋島家ゆかりの地をめぐるまち歩きイベント。詳細は徴古館HPやチラシをご覧ください。

「特撮のDNA」展 9/29(金)〜11/5(日)
「1867年パリ万国博と佐賀藩の視察」展 9/15(金)〜11/12(日)

ご利用案内
300円 (小学生以下は無料)
9:30〜16:00
日曜・祝日

交通アクセス
無料駐車場あります(一)
長崎自動車道 佐賀大和I.C.から、市街方面へ車で約20分
佐賀駅バスセンターから、市営・昭和・祐徳の各バスで「県庁前」または「佐嘉神社」下車
JR佐賀駅から、県庁方面へ徒歩約20分

お問い合わせ
info@nabeshima.or.jp
http://www.nabeshima.or.jp
(0952)23-4200(公益財団法人鍋島興財会)

Facebookも更新中!

徴古館
The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA